

まずは一度、お気軽にお出かけ賜り、月例会の様子を御覧下さいませよう。

十一月例会御案内

(平成二十九年・通算第三六九回)

時代を刷新する会

○御案内

十一月十日(金) 正午〜午後二時半 衆議院第一議員会館 地下一階 第五会議室

講師 男と女の脳の違い、その働きについて! 河村弘庸先生(医博、脳神経外科専門医、元東京女子医科大学・脳神経外科教授)

◎今年、北朝鮮の核実験やミサイル発射が連続し、東アジアで依然緊張が高まっているので、安全保障問題を議題に取り上げることが多くあります。当団体には、月例会のほか、各種の専門部会・委員会があるので、少し頭脳の転換をしましょう。例えば、去年、教育部会で若林克彦部会長(元国士館大学学長)が、各種大学の改革内容を勉強するため、各大学の執行部にも席を置かれた教授の方々をお招きしてお話をうかがいました。その中で、東京女子医科大学で脳神経外科教授を務めておられた河村弘庸先生のお話は特に面白く、大層勉強になりました。そこで、今回、月例会での御講話を、お願いした次第です。河村先生はお仕事柄、脳の手術もされていたことから、男性の脳と女性の脳とは構造・機能が違うことに気がつかれた、とのことでした。そのため一般に、男性と女性の脳とでは、男性は女性にかなわない仕組みになっている等々、河村先生は、分かりやすく面白くお話し下さいませ。日常生活上、役に立つと思えますので、奮ってのお出掛けをお待ち申し上げます。

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 午前十一時半から入館可能です。(清原記)

時代を刷新する会

当日連絡先

080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津

十一月十日(金)の月例会に

<http://www.jidaisassin.jp>

出席 欠席 (いずれかに○印を)

電話 03-3272-4320
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX

メール

▽十一月八日(水)までに出欠の御連絡賜りたく。

○御報告

去る十月十三日(金)の月例会は、国連から帰国した安倍総理が、九月二十八日に開会する衆議院の冒頭解散・総選挙を宣言。十月十日に公示、二十二日に投票ということになりました。その結果、野党は大混乱となり、小池百合子都知事が代表を務める「希望の党」が発足。すると民進党の前原誠司代表が小池百合子代表と話し合いつつ、一時は民進党全員が「希望の党」に合流すると報道が流れましたが、小池党首は全員を受け入れるのではなく考えの異なる政治家は排除すると表明したことに伴い、排除された候補者たちが急遽、新たな政党「立憲民主党」を結党。それに共産党や社民が選挙協力をしよう、というふうな図式が出来た。異色の総選挙となりました。そこで、当団体では、当選者予想は、新聞・雑誌・テレビなどに任せればすむとして、このような異色の総選挙の分析が、政治上必要と考え、読売新聞元論説委員・編集局次長を務められた高橋利行先生は、その意を受け、『分極世界における日本の選択!』と題し講演下さいました。その要旨は、いま、世界は、トランプのアメリカ主義、中国習近平の覇権主義、プーチンの独裁など分極化にあり、日本国内も分極化しつつある、いま選挙戦の最中なので予断は許されませんが、国民は、北朝鮮の挑発に対して、トランプ・アメリカが日本を本心に守ってくれるのか不安があり、安倍総理の「国難突破」のためとする解散理由は、案外効いてきていると思われ、自民党の勝利は間違いないといっている。民進党の多数を吸収した小池「希望の党」は排除発言などから急速に失速し、日本の政界が整理され、分極化したのが、今回の選挙の特色といえよう。

(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正太郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣が就任しております。岸信夫衆議院議員は、当団体の創業者・岸信介元総理の直系の孫に当たります。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介